

MAST

Mikawa Akabane Shizuoka Toyohashi

岡崎教区広報誌

2023年9月

第8号

発行所／真宗大谷派岡崎教務所

発行人／錦 秀見

編集／教区教化委員会メディア部会

印刷／ブラザー印刷株式会社



岡崎教区教化委員会の紹介

岡崎教務所長 着任・退職挨拶

慶讃法要 岡崎教区団体参拝報告

子どものつどい in 東本願寺 レポート

岡崎教区教化委員会の紹介

〈教区教化委員会概要〉

「教区教化委員会」は僧侶も門徒も一人ひとりが真宗の教えに生きる者になることを願う真宗同朋会運動の精神に基づき、教化事業を推進することを目的に組織されています。

岡崎教区教化委員会は、研修部会、同朋社会推進部会、青少幼年教化部会、メディア部会、史料調査部会の5部会が教化事業の企画・実施を担っています。各部会には部長・副部長が置かれ、委員の任期は3年です。教務所長が教化委員長の仕事にあたります。

5部会以外に、教化委員会から選出された主幹及び幹事から成り、教区の総合的な教化計画を策定する「幹事会」、教化事業が適切に行われたか、計画されているかということを協議するため、また、各部会間の連絡等を行うため、「執行委員会」が置かれています。

今後も教区に必要なとされる教化事業とは何か、真宗の教えを広く伝えていくためにどんな教化活動をすれば良いのかということを常に考えながら教化事業に取り組んでまいります。教区内の皆さまにはご理解ご協力のほど、よろしく願います。

研修部会

住職・寺族育成に関する事業を行います。

〈担当事業〉 得度研修会、伝道研修会、新任教師のつどい

青少幼年教化部会

青少幼年教化に関する事業を行います。

〈担当事業〉 子ども会設立・充実にする支援、若者教化に関する支援

同朋社会推進部会

靖国問題や差別問題、人権問題に関する事業を行います。

〈担当事業〉 靖国問題学習会、差別問題学習会、外部団体との交流、災害ボランティア

メディア部会

教化推進に必要な情報の収集及び発信に関する業務を行います。

〈担当事業〉 インターネットを利用した情報の収集・発信、教区内所蔵図書・資料の整理、

メディアに関する学習会、教区広報誌『MAST』発行

史料調査部会

教化推進に必要な史料の収集、調査研究を行います。

〈担当事業〉 法宝物調査・整理、法宝物展示会、法宝物学習会、法宝物図録の出版作業

主幹挨拶

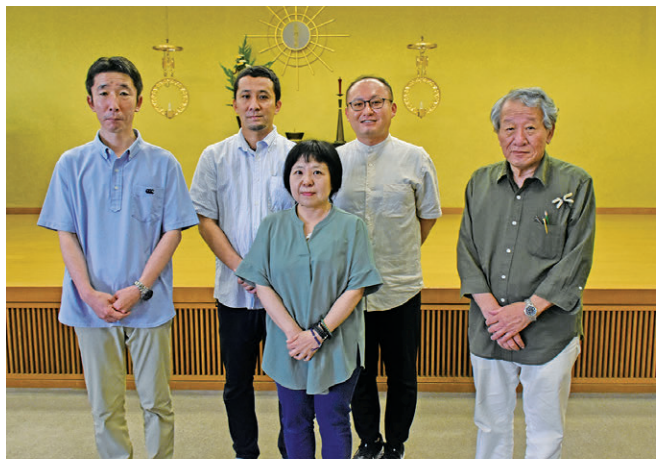


第16組 圓光寺住職
ひらの あきら
平野 暁
(1978年生まれ)

このたび、教区教化委員の皆さまよりの推薦をいただき主幹の任をお受けすることとなりました。

岡崎教区では、四別院を拠点に地域教化センターが置かれ、それぞれで様々な活動がなされ、教区教化委員会との事業のすみ分け、人や財の重複などが課題となっております。

現在、慶讃事業推進委員会において教区教化体制の見直しが議論されているところではありますが、現況で教区教化委員会に求められていることを十分に検討し、教化研修概要に示される「一カ寺一同朋の会の結成・充実」を目標に、寺院での教化を担う御住職・御寺族の活動の一助となるような事業の実施ができればと考えております。浅学菲才の身ではありますが、皆さま方のお力添えをいただきながら勤めてまいりたいと存じますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



同朋社会推進部会

(左から) ◎渡邊 潤、境 広昭、荒木道子、○清澤和音、
近藤祐昭
(欠) 和田大地、西山 恩、中根 大



研修部会

(左から) 柏樹貴弘、本多 証、◎三浦 共、大谷郁雄、
池浦良慈
(欠) ○畝部真紀



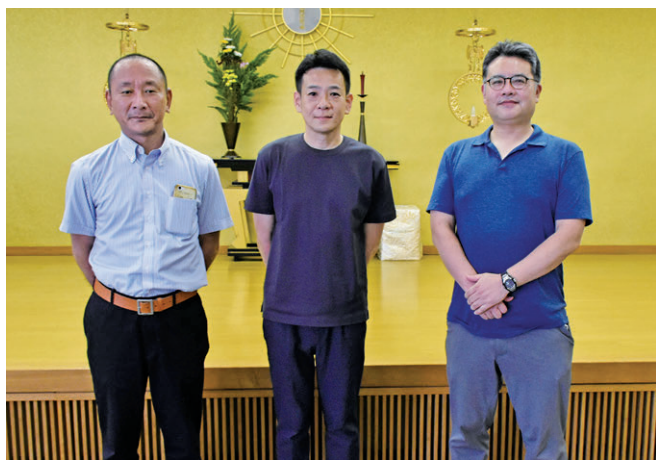
メディア部会

(左から) 小山興円、京極直哉、○中根浩正、上野 瞭、
別符浩瑛
(欠) ◎碧海文俊、安藤信生



青少幼年教化部会

(左から) 本多寛慶、宮部 聡、◎小野大樹、清澤唯真、
本田慈英、○榊原 宏
(欠) 高田法之



幹事会

(左から) 谷本 修、平野 暁 (主幹)、伊奈恵祐
(欠) 渡邊貴之



史料調査部会

(左から) 熊谷祐介、◎岡本 摂、○長谷部悠弥、小谷峻示、
大原雅幸

◎部長 ○副部長

岡崎教務所長 着任・退職挨拶

「着任挨拶」



岡崎教務所長
にしき しゅうけん
錦 秀見

このたび、2023年7月1日付にて岡崎教務所長を拝命いたしました。何卒よろしくお願い申し上げます。

今春、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年立教開宗八百年慶讃法要が無事に厳修されました。新型コロナウイルスの猛威に晒され、誰もが50年に一度の法要を勤めることができるのかという不安を抱える中で、宗門内の極端な意見としては法要を取りやめるべきとの声までありました。私たちは経験したことない猛威にさらされると本能的に我が身を守ります。その一方で、それより大切なことはないでしょうかに他を切り捨てる性質もあるようです。はたしてその考えや行いはどうなのかと考えさせられました。

2021年、ご本山での立教開宗記念法要の法話に立たれた楠信生教学研究所長（当時）は、金子大栄先生の「親鸞聖人の出家精神を明らかにし、

求道心に帰る。つまり、聖人の一生の終わりから遡って御誕生という出発点へもつ一度立ち帰ること、それが御誕生を想う一つの意義ではないか。そのことを通して、立教開宗の『教行信証』の精神も了解できるに違いない」との法話を引用され、親鸞聖人の立教開宗、さらには御誕生を問い返すことによつて、浄土真宗がたてられなければならないことが、その理由が明らかになると指摘いただいていると受け止められています。

私たちの歩みは、決して一本の道をまっすぐ歩いているのではなく、右往左往しているのだと思います。聖人も御誕生からの歩みは、苦難の中に道を求めて師にであい、法にであわれました。私たちも朋や師の叱咤激励を受け、振り返つてみると右往左往したことも含め無駄でなかったと生涯を尽くしていけることが大切なのだと思います。

みつももなく右往左往しながら、自分にとつての正解を握りしめるのではなく、慶讃法要に会えたことを慶び、教区の皆さまと語り合つことを大切に、与えられた職責を果たしていきたいと思ひます。

「退職挨拶」



京都教区 妙琳寺住職
きじま こうじ
木嶋 孝慈

謹啓 益々ご清祥にて、法義相統のこととお慶び申し上げます。

さて、私こと一身上の都合により、6月30日をもって宗務役員を退職させていただきました。わずか2年間はございましたが、親鸞聖人のご教化深い、伝統ある地に岡崎教務所長兼ねて三河別院輪番として着任させていただきました、色々とお育てにあずかりましたこと、深く感謝申し上げます。

今後は、滋賀県の自坊にて、釈尊の教え・親鸞聖人の教えを聴聞させていただきながら、微力ではございますが法義相統・宗門護持に努めてまいりたいと思っております。

また、ご本山でお会いする機会もあろうかと思ひますので、その際にはよろしくお願い申し上げます。退職のご挨拶とさせていただきます。末筆ながら、岡崎教区の益々の発展を念じています。

謹白

今年3月25日から4月29日まで本山にて慶讃法要が厳修されました。期間中は全国各地、また海外から約10万名の方々が参拝され、宗祖のご誕生・立教開宗が私にとつてどのような意味があるのか、ということをお願い直す大切な機縁となりました。

岡崎教区からも沢山の方々にご参拝いただきました。以下に各組・別院からの団体参拝参加者数をご報告いたします。

組	参加数	組	参加数	組	参加数
第1組	142	第13組	45	第26組	63
第2組	148	第14組	112	第27組	32
第3組	38	第15組	104	第28組	32
第4組	204	第16組	59	松平組	59
第5組	54	第17組	85	第30組	30
第6組	41	第18組	60	第31組	31
第7組	40	第19組	138	第32組	60
六ッ美組	71	第20組	38	第33組	67
幸田組	33	第21組	68	第34組	123
第9組	50	高岡組	73	第35組	50
第10組	31	第23組	80	三河別院	27
第11組	94	第24組	50	計 2,604名	
第12組	49	第25組	123		



法要期間中の御影堂門



本山へ向かうバスの車内



御影堂を背に記念撮影



子どものつと in 東本願寺レポート



第30組 長興寺
杉浦 圭 (1970年生まれ)
教区教化委員会青少年教化部会
前部長。

5月の連休に京都まで行くこと自体が今までにな
い体験であり、コロナ明けの状況も手伝つてか、古
の都は多くの観光客で混沌としていた。

そんな状況下で本山では「子どものつと in 東
本願寺」が催され、細やかながら賑やかしのお手伝
いをしてきた。内容については教区通信等で紹介さ
れているので省略する。

全国の教区がそれぞれに知恵(智慧)をしぼり、
オリジナリティのあるブースが並んだ。

岡崎からブースを出すにあたり、企画視点は2つ、
①来てくれた子どもさんと親の記憶の中に「本山(お
寺)で遊んで楽しかった」という思い出を持つてほ
しいという願い。これは平常より行っている自坊の
子ども会の一番大事にしているコンセプトだ。かな
り手前味噌的な発想であるが。

②この度の法要の願い(意義)と出し物を関連づけ、
尚且つ他の教区の出し物と内容が被らず、岡崎(地
方)の生活文化を織り交ぜたい。

結果としてはいかがなものか、自分では判断に窮
するが、当日の本山は凄まじい活気で溢れ、関わっ
たスタッフは心地よい疲労感と充実感を土産にでき
た。

イベントは一過性のモノとして、関わった者はあ
る種の達成感に満たされ、誠に具合が良いが、その

多くは打ち上げ花火の如く続けることが難しい。継
続して取り組むことで底力がつき、人の繋がりや一
般性の獲得などの拡がりを持つことができるものと
確信する。

この度の催事を通して、子ども会活動に取り組ん
でいる我々に「共通する課題」として改めて宗祖か
ら「問いかけ」を頂いたように感じた。



◀岡崎教区のブースは
「お菓子まき」を
しました。

▼お菓子まきを楽しむ子どもたち



みんなの掲示板 おいでんみりん

日 日時 会 会場 講 講師 内 内容 テ テーマ 持 持ち物 費 参加費 対 対象 問 問合せ

※新型コロナウイルス感染症の影響により、急ぎよ変更となる場合があります。

地域

三河地域教化センター

「真宗の葬儀」

日 9月14日(木) 19時～21時
講 中根 正行氏(第25組正信寺)
テ 寺院葬儀の式支配について
費 500円
持 (僧侶は)間衣・輪袈裟
会 問 三河別院
0564-21-0625

東三河地域教化センター

「聖教学習会 歎異抄に聞く」

日 9月29日(金) 14時～
講 平原 晃宗氏(大谷中・高等学校
宗教科講師、京都教区正蓮寺)
テ 歎異抄第10条
費 500円
会 問 豊橋別院
0532-52-5083

「市民公開講座」

日 9月30日(土) 13時～
講 河合 敦氏
(歴史研究家・歴史作家)
テ 人質から天下を取った徳川家康の
生き方に学ぶ
最新の研究結果を踏まえて～

費 無料

会 問 豊橋別院

0532-52-5083

「声明講習会」

日 10月6日(金) 13時～17時
講 松村 大栄氏(本願部堂衆)
テ 拝読文の読法、作法
費 無料
持 御伝鈔・御俗鈔・五帖御文稽古本、
間衣、念珠など
会 問 豊橋別院
0532-52-5083

静岡別院

「別院さんの公開講座」(法話)

日 ① 10月13日(金) 14時～16時
講 安藤 弥氏(同朋大学教授)
テ 三河一向一揆と徳川家康
日 ② 11月13日(月) 14時～16時
講 沓名 奈都子氏
(浄土真宗本願寺派布教師)
テ 絵解き法話 三幅の二河白道図
費 無料(2回とも)
会 問 静岡別院
054-253-1737

書籍の紹介

教化研究第170号

東本願寺出版

教化研究

目次	
巻頭言 人々を救済する教化研究の意義(中野 隆)	(1)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(2)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(3)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(4)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(5)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(6)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(7)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(8)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(9)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(10)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(11)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(12)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(13)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(14)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(15)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(16)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(17)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(18)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(19)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(20)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(21)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(22)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(23)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(24)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(25)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(26)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(27)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(28)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(29)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(30)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(31)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(32)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(33)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(34)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(35)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(36)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(37)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(38)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(39)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(40)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(41)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(42)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(43)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(44)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(45)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(46)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(47)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(48)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(49)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(50)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(51)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(52)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(53)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(54)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(55)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(56)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(57)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(58)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(59)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(60)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(61)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(62)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(63)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(64)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(65)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(66)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(67)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(68)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(69)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(70)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(71)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(72)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(73)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(74)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(75)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(76)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(77)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(78)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(79)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(80)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(81)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(82)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(83)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(84)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(85)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(86)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(87)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(88)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(89)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(90)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(91)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(92)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(93)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(94)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(95)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(96)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(97)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(98)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(99)
教化研究 170号の巻頭言(中野 隆)	(100)

170

教化研究

今号の特集は「誕生」です。慶讃法要を終えた今、あらためて「南無阿弥陀仏」と生まれたことの意味をたずねていこう」という呼びかけについて、多角的に確かめる一冊です。

仏教における誕生観や、誕生をめぐる現代社会の問題に迫る論文・講義録・コラムを多数収録しています。ぜひご覧ください。

※内容は変更となる場合がございます。詳細は教区・団体については教務所、地域については各別院までお問合せください。

『MAST』表紙写真募集について

『MAST』は年3回、1・5・9月に発行しております。教区教化委員会のメディア部会が作成しており、これまでは表紙の写真に部員が撮影した写真を使ってきました。

しかし、「教区の方が撮影した写真を表紙に使った方が教区の広報誌としてふさわしいのではないか」という意見が部内で出されたことを受け、今後表紙写真を広く教区内に募集していくことといたします。

次号第9号は来年1月の発行となります。写真撮影が趣味の方、ぜひお持ちの写真をご提供ください。お待ちしております。

組、有志で公開学習会の案内掲載希望の場合は教務所へお問い合わせください。『MAST』は年3回の発行予定です。紙面の都合で、掲載できない場合があります。

寺院活性化支援室設置について

7月26日に2023年度教区会通常会、27日に教区門徒会通常会が開催されました。両会に「岡崎教区寺院活性化支援室規程（案）」が議案として上程され、可決されたため、岡崎教区に寺院活性化支援室が設置されることとなりました。

寺院活性化支援室は、変わりゆく時代の中で寺院をとりまく状況が厳しくなっていくことに対応することを目指す組織です。一カ寺一カ寺が各々の個性を生かした活動を行っていきけるよう、支援を行います。

住職就任

まず支援活動を担う教区支援員の養成から行い、岡崎教区における支援の在り方を協議していく予定です。岡崎教区にどのような支援が必要なのかということを考慮しながら協議を進めてまいります。

第11組 浄徳寺 太藤 世雄

〔2023年5月28日任命〕

第4組 仁長寺 久我 益

第31組 恩高寺 本多 大地

〔2023年6月28日任命〕

編集後記

教務所員から「広報誌を作りたい」という熱い話があつてから3年、みんなが見てくれる広報誌を目標に毎号携わらせていただきました。文章は読みにくくないか。レイアウトは見やすいか。部会のメンバーで検討を重ね、気がつけば本号は第8号。コロナウィルスによる外出自粛などでリモート会議なども活用しながら進めてきました。今号から教化委員も新体制となり、次のステップへと歩みをすすめてまいります。読んでいただくのはもちろん、教区皆さんが参加できる『MAST』を目指したいと思います。

（編集…あおみ）

法語

人間とは自分で自分の
始末を仕切れぬ者の別名である

高光 大船

高光 大船

1879年（明治12年）～1951年（昭和26年）
石川県生まれ。清澤満之を師と仰ぎ、暁烏敏、藤原鉄乗とともに「加賀の三羽鳥」と呼ばれた。

※この法語は『日めくり法語 一語一遇』（東本願寺出版）より抜粋しました。

みなさまの声をお聞かせください

『MAST』に対するご意見、ご要望をお寄せください。下記メールアドレスにて受け付けております。より多くの方に、手に取っていただける広報誌にするためにみなさまのご協力をお願いします。

岡崎教務所（MAST担当）okazaki@higashihonganji.or.jp



見つけよう、 生まれた意義と 生きる喜び

～生活の中心に南無阿彌陀仏を～

岡崎教務所 ☎ 0564-22-2136



岡崎教区ホームページ



岡崎教区facebook